

いっぱくカード

使い方

目標：日本語の一拍、二拍の「はく」の感覚をつかむ。

- ① ●：清音、濁音、半濁音（「あ」「が」「ぱ」など）
▲：促音（小さい「っ」）
➡：長音（のばす音「おかあさん」の「あ」）
●●：拗音（「きゃ」など）
🐸：撥音（「ん」）
- ② 子どもに知っている言葉を言ってもらう。（例：「これなあに。」「きって」）
- ③ そのことばに合ったカードを並べて見せる。（例：● ▲ ● ）
- ④ そのカードに当てはまるほかのことばをいくつか言ってあげる。（例：「こっぷ」「につき」）
- ⑤ 子どもにそのカードに当てはまることばを言ってもらう。（意味が分からないことばを作っても、「はく」が合っていればOK。例：「あっぴ」）
- ⑥ ②～⑤を繰り返してカードと「はく」の関係を理解する。
- ⑦ 一人がことばを言って、もう一人がカードを並べる。当たったら交代する。交代交代でトライする。
- ⑧ 一人がカードを並べて、もう一人がそれに合うことばを言う。当たったら交代する。交代交代でトライする。

